



大垣市政・経済記者クラブ同時配布資料

岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年12月24日(水)		岐阜県発表資料	
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課企画連携係	成瀬 門脇	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

関ヶ原研究会情報発信事業 特別企画

「平野仁也×小和田哲男 関ヶ原合戦への道～関ヶ原前哨戦を探る～」 の開催【参加者募集】

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、令和5年10月に発足した関ヶ原研究会の情報発信事業として、戦国時代や江戸時代を専門とし、徳川家の歴史や歴史書に関する研究を行う東海学園大学准教授の平野仁也氏の講演会及び同氏と小和田哲男記念館館長との対談を一度に味わえる特別企画を下記のとおり開催します。

記

1 日 時 令和8年2月14日(土) 13時～15時30分

2 会 場 関ヶ原ふれあいセンター大ホール（不破郡関ヶ原町関ヶ原894-29）

3 定 員 400名 ※事前予約（先着順）

4 参 加 費 無料

5 プログラム

(1) 講演会

- ・時 間 13時～14時
- ・講 師 東海学園大学人文学部准教授 平野 仁也 氏
- ・演 題 「関ヶ原前哨戦～尾張・伊勢・美濃の動向～」
- ・内 容 関ヶ原本戦の前に、尾張・伊勢・美濃では両勢力がどのように争っていたのか、当該地域の諸領主や徳川家康、石田三成が発給した文書を取り上げながら、各地の攻防戦について解説します。

(2) 対 談

- ・時 間 14時30分～15時30分
- ・対談者 東海学園大学人文学部准教授 平野 仁也 氏
岐阜関ヶ原古戦場記念館館長 小和田 哲男
- ・テー マ 「関ヶ原合戦への道～伊勢・美濃の戦い～」
- ・内 容 講演内容もふまえ、伊勢と美濃の東軍・西軍の両勢力の様子をより深く考察していきます。徳川家康と石田三成の対応の差や東軍と西軍の相違点を通じて、何が勝敗の分かれ目となったのかを探っていきます。

(3) その他

令和7年度関ヶ原合戦自由研究コンテスト入賞者の表彰式を講演会後に実施します。

・時 間 14時～14時30分

6 申込方法 次の期間内に申込フォームまたは往復ハガキにてお申し込みください。

(1) 申込期間 令和8年2月8日（日）まで

※定員に達し次第、募集を締め切ります。

※往復ハガキでお申込みの方は令和8年2月6日（金）必着

(2) 申込フォーム <https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p8021/> (記念館公式HP)

(3) 往復ハガキ 〒503-1501 不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55

岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係「特別講演会・対談」担当者宛

※郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、申込人数（1枚につき
2名まで）を明記してください。

※申込人数が2人の場合は、2人目の氏名（ふりがな）を明記してください。

東海学園大学人文学部准教授 平野 仁也

（経歴）

昭和53年愛知県生まれ

名古屋大学大学院文学研究科人文学専攻博士課程単位取得後退学

歴史学博士

東海学園大学人文学部准教授

（著書）

『江戸幕府の歴史編纂事業と創業史』（清文堂出版）

（共著）

『愛知県史 通史編4』（愛知県）

『東海の中世史5 信長・家康と激動の東海』（吉川弘文館）ほか多数



岐阜関ヶ原古戦場記念館館長 小和田 哲男

（経歴）

昭和19年静岡市生まれ

早稲田大学大学院文学研究科博士課程満期退学、文学博士

岐阜関ヶ原古戦場記念館館長

静岡大学名誉教授

公益財団法人日本城郭協会理事長

（著書）

『徳川家康 知られざる実像』（静岡新聞社）

『教養としての「戦国時代」』（PHP新書）ほか多数



【関ヶ原研究会の概要】

○目的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める

○設立日 令和5年10月14日

○会長 小和田 哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長

○会員 関ヶ原に関連する研究実績のある者（大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等）

○内容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取組みを実施

①関ヶ原関連研究に関する情報発信

関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施

②若手研究者の育成支援

関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施

③学芸員ネットワークの形成

関ヶ原の戦いと関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施

④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動